

道路行政セミナー2012年6月号 NO.045 2012年6月22日発行 ポイント

◇◆特集◆◇

★特殊車両通行許可のオンライン申請における利便性向上サービス★ ～オンライン申請における本人確認方法の変更など～ (国土交通省 道路局 道路交通管理課)

道路法第47条の2に基づく特殊車両通行許可申請について、職場や自宅からインターネットの利用により申請書の提出及び許可証の取得ができるオンライン申請の運用が行われているが、平成24年5月23日から、電子証明書に代えて、申請者IDとパスワードによる本人確認方法に変更を行った。

本稿においては、本人確認方法の変更を含め、申請者の利便性向上のために実施したサービスについて紹介を行う。

◇◆道路法令◆◇

★平成23年地方自治法一部改正に伴う議決事件対象の範囲の拡大について★ (道路法令研究会)

平成23年地方自治法一部改正に伴う議決事件対象の範囲の拡大について解説する。

◇◆TOPICS◆◇

★公共交通の利用促進を目的としたバス運行社会実験について★ (高松市 市民政策局 コンパクト・エコシティ推進部 交通政策課)

高松市では、コンパクトで持続可能なまちづくりを具現化するため、平成22年11月に新たな「高松市総合都市交通計画」を策定した。この計画に基づき、過度に自動車利用に依存した現状から、公共交通機関利用への転換を図るため、各種交通施策に取り組んでいる。

本稿では、平成23年度に実施したバス運行社会実験について紹介する。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★四国地方整備局道路部における東南海・南海地震への備えについて★ (四国地方整備局 道路部 道路管理課)

四国においては、高確率で発生が懸念される東南海・南海地震、さらには東海・東南海・南海地震の3連動地震等への対策が喫緊の課題であり、平成23年12月に策定された四国地震防災基本戦略に基づき、遅れている信頼性の高い道路ネットワークの確保等のハード事業及び関係機関が連携・情報共有を図り早期に啓開・復旧を実施するための復旧オペレーション計画策定等のソフト対策を着実に推進することが急務であり、関係機関が一体となって各施策を推進している。

.....

★道路施設維持管理システムの構築について★ (富山県 高岡土木センター 施設管理課 道路維持班)

昨今、道路維持管理業務においては、道路管理延長、道路管理施設数が年々増大し、また道路利用者の要求水準は高まり、迅速・適切な対応が求められている。

ここでは、道路パトロール報告及び苦情処理結果をデータベース化することにより、データ蓄積、検索、集計を行い、効率的な道路維持管理を目指すためのシステム構築について報告する。

.....

★散居が広がる砺波平野の「地域ぐるみ除排雪」★ (砺波市 建設水道部 土木課)

砺波市では、降積雪期における雪対策として砺波市雪対策条例を定め、「雪に強い明るく住みよいまちづくり」、「雪を利用し活力あるまちづくり」、「雪に親しむ心豊かなまちづくり」の3つを基本方針に総合的な雪対策に取り組んでいます。

その中の取り組みの一つとして、地域住民と連携した「地域ぐるみ除排雪体制」を確立し、除排雪機械等の整備や除雪作業委託など、降積雪期の除雪対応を市民と協働で実施しています。

本稿では、当市が取り組んでいる「地域ぐるみ除排雪」の内容について紹介します。

◇◆お知らせ◆◇

『一本の道に日本の底力』～平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語決定！～ (国土交通省 道路局 道路交通管理課)

国土交通省では、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、改めて道路の意義・重要性について考えて頂くことを目的に、推進標語を広く一般から募集しました。

審査懇談会における厳正な審査の結果、応募総数7,798作品の中から、最優秀賞3作品、優秀賞6作品の推進標語が選ばれました。

◆◆編集後記◆◆

季節の移ろいを美しく演出する紫陽花（アジサイ）。
雨降りですし憂鬱な心を潤してくれます。

花びらに見える部分は、植物用語ではガクと呼ばれます。成長の過程において、その色合いを、白色→水色→青色→紫色や、白色→桃色→赤色へと変化させていくことから、七変化とよばれることもあります。同じ株から生えていても、違った色づきをすることもあり、土壌の酸性度やアルミニウム量が、この色づきを左右する要因のひとつとしてあげられています。日本で咲く紫陽花に青系色が多いのは、火山地帯が多く土が酸性であるため、アルカリ性である場合には、赤系色の花になることが多いといわれています。また、解明はされていないものの、食すると嘔吐やめまいを伴う中毒症状を起す場合もあるようです。美しきものには毒があるともいいますから…。

日本では梅雨の時期に咲くことから、雨が似合う花という印象が強く、雨の日にその存在感を際立たせ、凜と咲き誇る紫陽花。少し憂鬱な気分になってしまう雨空でも、紫陽花にとっては、その魅力を輝かせる演出のひとつであるのでしょう。

雨が多く湿度も高くなり、気持ちが晴れない日が増えがちな今日この頃。そんななかでも、「露に濡れた紫陽花は輝いているな」とか、「桃色づいてきたので、この土壌はアルカリ性なのかな」といったように、紫陽花は、雨の日の楽しみをもたらしてくれます。

心持ちひとつで、周りが違って見えるときがあります。こんな風に、毎日の暮らしの中で、気持ちが上向きになるようなことを見つけながら、潤いある生活をしていくことが、わたしの目標です。

紫陽花の花言葉は「移り気」。6月は、祝日がなく、集中力が途切れそうになる季節でもありますが、移り気せずに、気を引き締めていきたいと思います。(U)